

大野市自転車を活用したまちづくり計画



福井県大野

目 次

1. はじめに	1
2. 計画の概要	2
(1) 計画の対象区域	2
(2) 計画の期間	2
(3) 計画の位置づけ	3
3. 現状と課題	5
(1) 自転車の交通特性と利用環境	5
(2) 大野市の自転車利用の現況	11
(3) 自転車利用の課題	28
4. 計画目標と基本方針	29
5. 自転車通行空間ネットワークの構築	30
(1) 自転車通行空間ネットワークの構成	30
(2) 自転車通行空間整備の考え方	35
6. 計画推進のための自転車施策	36
(1) 自転車利用環境改善のハード対策	36
(2) 自転車利用環境改善のソフト対策	38
7. 計画の実現に向けて	41
(1) 市民、事業者、行政の協働によるまちづくり	41
(2) 計画の進行管理と変更	43
資料編	45
■策定経過	45
■検討委員会委員等	46
■「自転車利用に関するアンケート調査」の概要	47
■検討委員会委員によるワークショップの概要	56
■パブリックコメント（意見募集）の結果	58

1. はじめに

自転車は、子供から高齢者までが利用することのできる身近な移動手段です。利用者自身の力を動力とするため、燃料費が不要で排気ガスも出ない経済的で環境にやさしい乗り物です。近年では、健康意識の高まりから、通勤・通学をはじめ観光・レクリエーションなどで自転車の利用が増えています。

また、モータリゼーションの進行により、市民の日常生活には自動車が必要なものになっていますが、自動車に過度に依存した交通環境は、自動車利用に偏ったまちをつくることになり、自動車を利用しない市民にとって不便で暮らしにくいまちになってしまいます。このため、バランスのとれた交通環境づくりに向けて、自転車の利用促進が期待されています。

大野市では、平成30年に開催する第73回国民体育大会（福井しあわせ元気国体）の自転車ロードレース競技が行われることから、自転車ブームを背景に全国各地から多くの自転車ファンや観光客が大野市を訪れることが期待されています。

大野市民にとっては、国内の一流選手による競技を直接目にするすることで、自転車の魅力を肌で感じ、自転車利用の一層の拡大につながるものと考えています。

また、大野市が進めている観光に関しても、自転車利用を促進することで大野市の歴史文化に触れるとともに、郊外の豊かな自然を体感していただくことができ、より深みのある観光が可能になると考えています。

このように、自転車を活用することは、大野市における環境にやさしい交通環境をつくるとともに、市民の健康づくりや観光への寄与など、大野市のまちづくりに大きな成果が期待できます。

一方、自転車利用者の中には交通ルールを無視した悪質で危険な運転やマナーの低下がみられ、自転車に関連する交通事故が多発しています。自転車を含めた安全な交通環境の確保が求められています。

本計画は、上位計画である「第五次大野市総合計画」における“自転車走行空間の整備”に基づくとともに、関連する計画、施策と連動させ、人や環境にやさしく、市民にとってより住みやすい大野市のまちづくりを実現するため、安全で快適な自転車利用環境として、自転車の通行空間ネットワーク、駐輪場などのハード施策と、交通ルールの遵守やマナーを向上させるためのソフト施策に関する方針を策定することを目的とします。